



## 外国出張報告書

平成 26 年 3 月 27 日

1. 出張国名       パラグアイ

2. 出張月       平成 26 年 2～3 月

3. 出張目的

- ・ 炭素蓄積ベースライン調査の継続（土地利用調査）、試験ほ場での各種試験（植林、牧草、土壌）の継続、プロジェクト・セミナーの開催と発表   ：A
- ・ 農家の育林管理状況調査、樹木試験データの継続と取りまとめ   ：A

4. 成果の概要

JIRCAS 主催による「カアグアス県他 5 県におけるクリーン開発メカニズム（CDM）を活用した広域的な植林計画の策定に関するセミナー」をカアグアス県庁オビエドホールにおいて、3 月 7 日、関係者、集落代表者等 81 名の参加により開催した。セミナーでは JIRCAS 含む 7 名による研究プロジェクトの調査結果等について成果発表を行った。

試験ほ場での各種試験の継続として、パラグアイ農村協会敷地内展示ほ場においてユーカリの成長に伴う土壌水分および土壌養分の変化を測定するため、土壌水分計の設置、土壌サンプリングを実施した。

プロジェクト対象 5 県において広域的な植林計画を推進するため、関係する県において木材流通および木材消費実態について調査した。調査は鉱業・エネルギー省、国家森林院などの行政機関、木材を利用・消費している木材加工販売所、木材チップ工場、製材所、セラミック工場、食品加工場等の 73 の民間業者等へ聞き取り調査を行った。

パラグアリ県展示圃場の 3 樹種の樹木計測結果をとりまとめ、炭素蓄積量を算定した。

*Grevillea robusta* は間伐の影響から炭素蓄積量は減少していた。